

まちの魅力、 全国に



令和2年度、ふるさと納税寄付金額は49億8千万円超えの過去最高を更新した大崎町。全国12位、町村の部では3位となりました。豊かな自然に恵まれ、現在返礼品は、魚介類や肉、果物、お菓子などの食料品をはじめ、工芸品や日用品、宿泊券など600品目以上です。全国で多くの自治体が参加しているふるさと納税ですが、大崎町が注目を集めている理由は、魅力的な返礼品の「品」だけではなく、生産者や事業者の「熱い思い」です。

今回は、まちの魅力を全国に届ける人たち取材しました。

2017年の全国和牛能力共進会で「鹿児島黒牛」が日本一に輝くなど、畜産王国と言われる鹿児島県。その中で挑戦し続けているのが、昭和41年から上町にお店を構える肉のこせどです。県内の選り抜いたお肉をメインに取り扱っています。ふるさと納税には当初から参入。町内での実績があまりない頃からのスタートでしたが、「畜産の産地である鹿児島、本場の味を知ってほしい」という思いで決心しました。今では、ふるさと納税の注文が多く入るようになり、町外で務めていた翔さんが帰ってきて一緒に営むようになりました。

もつ鍋や焼肉のタレなど、ふるさと納税をきっかけに新商品も開発。タレは、お肉と合うよう、町特産品のマンゴーを研究し絶



肉のこせど
小瀬戸 翔さん

祖父から続く
お店を
大崎町ですと
やっていけたら



妙なバランスでブレンド。積極的に返礼品の種類を増やしてきました。ふるさと納税のメリットはこんなところにも。牛肉の消費が増えることで回転が上がり、地元では安くで販売できるようになりました。また、サイトのレビューで直接納税者の声が聞けるため、クレームがあった際は真摯に向き合い、改善を重ね、より良い品を提供できるようにしました。翔さんはお店のホームページやインターネット販売を開設するなど、特産品を広めてまちを元気にしようと、積極的に取り組んでいます。



◀自家製
マンゴーたれ「翔」



▲学校給食用に提供している豚こま切れ肉も返礼品に追加